

背景と趣旨

社会経済活動は大きく変容し、テレワークやオンライン会議、キャッシュレス決済など、外面的な変化だけではなく、人々の働き方や産業構造も大きく変化しました。このようなデジタル技術の急速な進展に伴い、国はまちづくりや行政サービスにICTを活用する方針を打ち出しています。行政の効率化・高度化を図るとともに、市民の生活をより良いものへと変革させ、新しい価値を創出するまちへ進化するため、「名張市DX推進計画」を策定し、本市が一丸となって、デジタル社会の実現に向けた取組を推進します。

位置付け

- ・本市が取り組むDXの方向性を示す総合的な計画
- ・官民データ活用推進基本法第9条第3項に規定する、市町村官民データ活用推進計画

実施期間

令和5（2023）年度から令和8（2026）年度まで

推進体制

- ・「名張市行政・デジタル改革推進本部（市長・副市長及び各部局等の長）」を設置し、デジタル化に関する施策の基本的な方針、重要施策の審議と部局間の総合調整を行います。
- ・検討項目別ワーキンググループを設置し、分野横断的な事項の迅速な検討や判断を行い、機動力の高い組織として、各事業におけるデジタル化の調査・研究及び実証実験並びに普及・啓発等の活動を行います。

目指す姿と基本方針

『デジタルで便利な行政サービス』

- 行政手続のオンライン化の推進
いつでも、どこでも、つながる
- 誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化
利用者中心のサービスで誰でもデジタルの利便性を享受
- 徹底的な安全性の確保
セキュリティ対策の徹底

『デジタルで行政運営の効率化』

- 業務効率を追求するデジタル化
スピーディ・シンプル・セキュア
- AI等の先進技術の活用
業務見直しで効率化
- デジタルで業務を完結
全ての業務でデジタル化の更なる徹底
- 職員の意識改革と人材育成
職員一人ひとりが市役所を変革

『デジタルで新たな価値創造』

- 市が保有するデータの提供
様々なデータを誰でも自由に活用
- BPRの推進
職員の人的資源を市民サービスの向上に

